

1 題材名 ふしぎな乗りもの

2 題材の目標

- 身近なものを乗り物に見立てることに関心をもち、想像をふくらませながら、自分の思いを表そうとする。
(造形への関心・意欲・態度)
- 身近なものから得たイメージを基に乗り物を思い付き、形や色、表し方などを考える。
(発想や構想の能力)
- 自分の思いに合わせて、今までに経験した表し方を生かしたり、材料や用具を工夫したりしてかく。
(創造的な技能)
- 自分や友だちの作品を見合ったり、それについて話し合ったりしながら、表し方のよさや面白さに気付く。
(鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 題材観

本題材は、小学校学習指導要領図画工作科の第3学年及び第4学年の内容A表現(2)イ「表したいことや用途などを考えながら、形や色、材料などを生かし、計画を立てるなどして表すこと」に対応した題材である。身近なものを乗り物に見立てることから発想を広げ、自分の表したいことを見付けてかくことを通して、材料や用具の特徴を生かしながら表す楽しさを味わうことができると考える。

(2) 児童の実態

図画工作の意識調査から、本学級の児童は、図画工作が好きな児童が多いことが分かる。一方で、作品をつくる前につくりたいもののアイデアが思い付く児童は*人と多いものの、思い付かないとする児童が*人いた。アイデアが思い付かないと答えた児童は、「図画工作が嫌い」や、「計画を立てることが嫌い」とも答えている。活動の様子を観察しても、これらの児童は、何をつくるか長い時間悩んだり、教科書や友だちのアイデアをそのまま真似たりしている。そこで、本題材では、身近なものにじっくりと触れ、形や色などの造形的な特徴を捉えることを通してイメージをもち、発想や構想をする力を育てていきたいと考える。

(3) 指導観

児童にとって、身近なものの特徴に注目することは、違う見方でものを見る体験である。身近なものについて、その形や色などの面白さに気付かないことは多い。今回、身近なものを造形的な視点で見たり、直接手で触れたりする時間を十分に取って、対象から感じ取った造形的な特徴を言葉に表すことで、より自分のイメージをはっきりさせていけるようにする。また、導入時に参考作品を見たり、製作途中で作品を見合ったりすることで、友達作品からよいところを感じ取り自分の作品製作に生かしていけるようにする。

4 指導計画(6時間扱い、本時は○)

次	時	学習活動	関	発	技	鑑	学習活動に即した評価規準(評価方法)
1	①	身近なものに直接触れ、造形的な特徴を捉える。	○				・身近なものを乗り物に見立てることに関心をもち、形や色などの造形的な特徴をとらえ、想像をふくらませようとしている。 (観察, ワークシート)
	2	身近なものを乗り物に見立てて、想像をふくらませる。					

2	3 5	・自分が乗ってみたい不思議な乗り物を、自分のイメージを基にかく。	○	○	・身近なものから得たイメージを基に乗り物を思い付き、形や色、表し方などを考えている。 (観察, 作品, ワークシート) ・自分の思いに合わせて、今までに経験した表し方を生かしたり、材料や用具を工夫したりしてかいている。 (観察・作品・ワークシート)
3	6	・作品を鑑賞しながら、自分の思いを話したり、友達の思いを聞いたりする。		○	・自分や友達の作品を見合ったり、それについて話し合ったりしながら、表し方の面白さに気付いている。 (観察・ワークシート)

5 本時の指導計画


(1) 目標

身近なものを乗り物に見立てることに興味をもち、形や色などの造形的な特徴をとらえ、想像をふくらませようとする。

(2) 準備・資料

身近なもの(生活用品), ワークシート, デジタル拡大鏡, 図画工作用語彙集「ことばのたまてばこ」

(3) 展開

学習活動及び内容 (学習形態)	指導上の留意点, ◎評価 (評価方法)
<p>1 身近にある乗り物について確認する。 ○予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛行機 ・船 ・自動車 ・電車 ・ロケット 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り物に乗った経験を想起することで、楽しい雰囲気を始められるようにする。 ・身近にあるものが不思議な乗り物になった写真を提示し、乗り物に対する既存の概念を取り払う。 ・学習課題と学習方法を確かめることにより、学習の見通しがもてるようにする。 ・形や色などの造形的な特徴をとらえることで、ふしぎな乗り物の材料になることを伝える。 ・形や色で目立つところはないかと呼びかけ、見る視点をもたせる。 ・どのようなイメージをもったか、またどうしてそのように感じたのか、理由も説明するように促す。 ・用途からどんな機能が付いていそうか考えるように促す。 ・個人で身近なものに向き合う時間を十分に確保する。 ・色や形に着目したり、想像を広げたりして
<p>2 学習課題を確認する。(一斉)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>身のまわりのものから、おもしろい形をさがしましょう。</p> </div>	
<p>3 例として示した身近にあるものの造形的な特徴を探す。(一斉)</p> <p>○予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注ぎ口が鳥の形みたい。 ・金色で光っていて豪華。 ・つるつるしていて滑り台になりそう。 ・湯気を出すから超高速で飛びそう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>例：やかん</p>  </div>	
<p>4 自分のかきたい物を探し、感じたことをワークシートに記入する。 ○予想される児童の反応</p>	

- ①セロハンテープ…渦巻のような形。
…ギザギザがついている。
- ②サッカーボール…白と黒の繰り返しが面白い。
…六角形が集まっている。
- ③はさみ…丸い二つの持ち手は兄弟の部屋。
…刃はワニの口みたい。

5 電子黒板で写真を見せながら、見つけた面白い形を発表し、意見を付けたす。(一斉)

○予想される児童の反応

- ①セロハンテープ…渦巻のような形。
…ギザギザがついている。
→階段をつけたら滑り台にも見えるよ。
- ②サッカーボール…白と黒の繰り返しがおもしろい。
…六角形が集まっている。
→六角形の部屋をつくったらどうかな。
- ③はさみ…丸い二つの持ち手は兄弟の部屋。
…刃はワニの口みたい。
→刃を閉じれば、ロケットみたいに空へ飛びそうだなと思ったよ。

6 本時を振り返り、感じたことを全体で話し合う。(一斉)

7 次時の活動を知る。(一斉)

いる意見に称賛する。

- ・ワークシートに記入ができない児童には、図画工作用語彙集「言葉の玉手箱」を活用するように助言する。
- ・友達と話しながら、お互いによい意見を参考にしていよことを伝える。
- ・気に入ったものはデジタル拡大鏡で写真を撮るように促す。
- ・「色」「形」「イメージ」について、よい気付きがあった児童を意図的に指名し、全体で共有できるようにする。
- ・意見を発表したら、どうしてそう思ったのか、理由も説明するように促す。
- ・多様な感じ方があるよことを伝え、互いの意見を認め合えるようにする。
- ・自分の考えを言葉で表現できず、意欲がもてない児童には、「言葉の玉手箱」や話型を活用するように促す。
- ◎身近なものを乗り物に見立てることに関心をもち、形や色などの造形的な特徴をとらえ、想像をふくらませようとしている。
(観察・ワークシート)

- ・「色」「形」「イメージ」について、よい気付きがあった児童を意図的に指名し、全体で共有できるようにする。
- ・次時の活動内容を説明するとともに、どんな不思議な乗り物がつくれるか期待がもてるように声かけをする。